

深海生物シンポジウム in 魚津の開催について

令和元年 12 月 27 日
水産漁港課

リュウグウノツカイ等の希少な深海魚の出現により、富山湾の深海に対する関心が高まっていることから、ダイオウイカの世界的権威であり、国立科学博物館名誉研究員の窪寺恒己（くぼでら つねみ）博士や、魚津水族館の稲村修（いなむら おさむ）館長などにご参加いただき、次のとおりシンポジウムを開催します。

1 開催趣旨

富山湾沿岸では、昨年秋頃から、希少な深海魚が多く出現し、特に、リュウグウノツカイは、今年は年間最多となる 12 尾が確認され、富山湾の深海に対する関心が高まっている。こうした機会を活かし、県では、魚津水族館と連携して、深海生物の生態等について調査研究を進めており、その一環として、シンポジウムを開催し、深海生物の専門家による基調講演やトークセッション、リュウグウノツカイの剥製や富山湾の深海に関するパネルの展示等を通して、「神秘の海」富山湾の魅力を発信する。

2 実施概要

- (1) 日 時 令和 2 年 2 月 2 日（日） 13:30～15:30
- (2) 場 所 新川文化ホール（小ホール）
- (3) 主 催 富山県、魚津市
- (3) 定 員 250 名（入場無料）

3 シンポジウムの内容

(1) 基調講演

① 「ダイオウイカとの遭遇」（仮題）

国立科学博物館名誉研究員 窪寺恒己 博士

② 「富山湾におけるリュウグウノツカイの出現」（仮題）

魚津水族館長 稲村 修 博士

(2) トークセッション

「富山湾の深海とその魅力」

国立科学博物館名誉研究員 窪寺恒己 博士

魚津水族館長 稲村 修 博士

富山県水産研究所長 田子泰彦 博士

たご やすひこ

(3) その他

小ホール前のホワイエにおいて、リュウグウノツカイの剥製や富山湾の深海に関するパネルの展示、富山湾の深海映像の放映



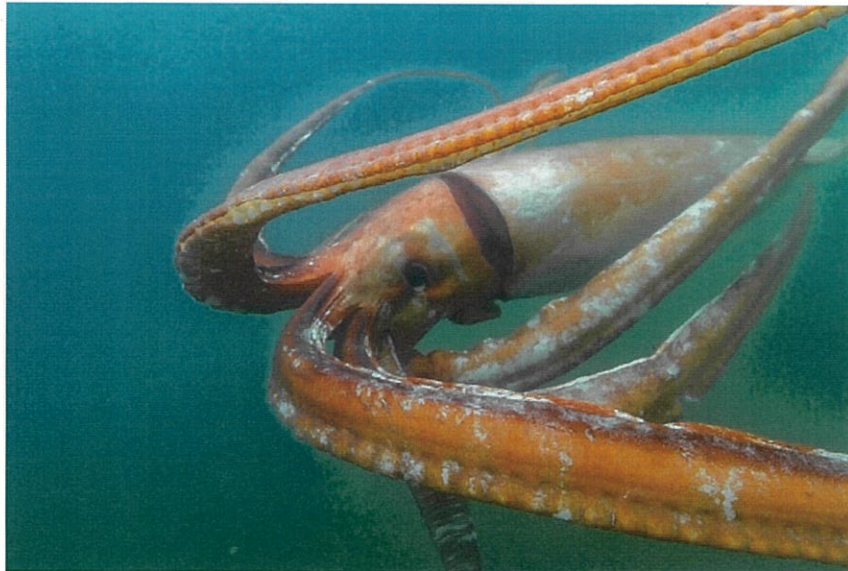
魚津水族館で展示中のリュウグウノツカイ剥製

くぼでらつねみ
窪寺恒己氏 (68)



国立科学博物館名誉研究員

- 専門は深層性の大型頭足類（イカ、タコ）の生態に関する研究
- H24年、小笠原沖のダイオウイカ撮影・調査プロジェクトに参画、自ら潜水艇に乗り込み水深630mの深海で自然状態でのダイオウイカ生態撮影に成功。このプロジェクトはH25年、NHKスペシャル「深海の超巨大イカ」として放送されたほか、欧米各国でも放映され、世界的な注目を集めた。
- 今年、7月に魚津水族館で開催されたダイオウイカに関するトークショーに専門家として参加



四方沖で撮影されたダイオウイカ



ダイオウイカのトークショーで講演する窪寺氏
(令和元年7月 魚津水族館)